

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業実績について

- 本事業は、デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、地方公共団体の意欲的な取組が支援されるものです。
- 本交付金を活用した事業の効果については、目標数値を設定し、その達成度合いを、各自治体における有識者委員会において検証することが求められているため、下記のとおり検証を実施します。

1、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

- ・地方創生に資する先駆的な取組を支援するもの。
- ・令和4年度から令和6年度にかけて、向日市が取り組む事業として採択され、事業を実施した。

事業名	事業概要	事業内容	事業実績額	目標/実績数値	評価
減塩を核とした健康で質の高い生活を志向するまちづくり	”減塩”をテーマとし、誰もが健康で自分らしい暮らしを続けられるよう、健康づくりと地域の活性化に資する事業を実施する。 既に事業採択を受けていた城陽市との地域間連携事業とし、幅広く減塩の取組を推進することで、山城地域における健康意識醸成の波及効果を高めていく。	【健康ポイント事業】 生涯にわたって健康的に過ごせるよう、定期的な運動や健康診査（検診）の受診等を推進するため、これらの活動を行った者に対し健康ポイントを付与し、一定のポイント以上集めたものの中から抽選で賞品を贈呈する。 減塩レシピコンテストで選定されたレシピを紹介し、減塩を意識した食事を取り入れることをポイント付与の対象と位置づけ、減塩に対する意識を高めることに繋げた。	約 106千円	①特定健診受診率 （向日市国民健康保険実施分） R6目標：55%（R5年法定報告） → R6実績：41.4%（R5年法定報告） ②特定保健指導実施率 （向日市国民健康保険実施分） R6目標：65%（R5年法定報告） → R6実績：78.9%（R5年法定報告） ③健康ポイント事業達成者数 R6目標：200人 → R6実績：107人 （上期：健康ポイント事業107名、 下期：健康ウォーキングアプリKENPOS 1,087名 計1,194名）	様々な機会を捉え、幅広い市民を対象として、特定健診等の受診、健康イベントへの参加や減塩を意識した食事を取り入れる等の生活習慣の改善に取り組んでいただくことにより、健康づくりの意識の醸成につながった。